成果の説明書

(氏名) 岡村晃子	(学部) 経済
1 重要事項 2015 年度、論文は投稿中となっている。 口頭発表は 2 件、6 月に香港での Globalization に関する conference と 10 月にアメリカ合衆国アトランタでの第二言語習得の conference (SLRF) でそれぞれ違った分野の研究の発表を行った。どちらの研究も論文にまとめる予定である。 1.1. 論文口頭発表 Akiko Okamura (2015a). The exploitation of non-Japanese words for advertisements in the housing market. The Sociolinguistics of Globalization: (De)centring and (de)standardization, The university of Hong Kong, Hong Kong, June 2015 Akiko Okamura (2015b). How do segmental and suprasegmental features work for intelligibility in prepared and non-prepared ELLs' talks? SLRF, at Georgia State University, USA. 1.2. 報告書作成 平成 26 年度ぐんま国際教育財団、語学教育助成金 (30 万円) への報告書 (8,000 語) 報告書のトピック : 英語の発音、流暢さを向上させるための英語字幕利用の教材作成 1.3. 学外資金 平成 27 年度ぐんま国際教育財団、語学教育助成金 (30 万円) の受賞 受賞のトピック : 英語を話す練習用のグループワークを通して語彙、及び文法の運用能力を向上させる試み 1.4. 査読者としての貢献 学術雑誌 English for specific purposes の reviewer として投稿論文の査読を担当。	
2 その他の事項 英語カリキュラム改革グループのメンバーとして 2017 年度からの改革に参加	
3 次年度以降の計画・抱負 2016 年度は新カリキュラムに移る前の最後の年となるため、今まで担当してきたコース (Practical English) でのグループ活動についてアンケート、英語テストにより、その効果について 24 クラス全体で検証する。この検証により、グループでの英語学習の利点、問題点を motivation , socially shared regulation の点から明らかにしたいと思う。	